

# 夏休み作品募集

## 【絵画の部】

コンクール名	大きさ	内容など
きのくに川の日 絵画コンクール	四つ切り画用紙	テーマ「つたえよう きれいな川のあるけしき」和歌山にはきれいな川がいっぱいあります。 つたえたいきれいな川の景色を絵に描いてみましょう。 *応募した作品は返却されません。
家庭の日	四つ切り画用紙	家族・家庭をテーマにした絵画 (油絵・貼り絵・ポスターはのぞく・標語は入れない) *応募した作品は返却されません。
和歌山県ジュニア美術展 観覧会 絵画の部	四つ切り画用紙	テーマは自由 平面作品であれば、用具や技法は問いません。(クレヨン、絵の具)
愛鳥週間用ポスター	四つ切り画用紙 必ずたて書き	テーマ ・渡り鳥などの野鳥の保護活動や野鳥の自然の姿をテーマにしたもの ・自然の中での野鳥と人との交流をテーマにしたもの ・4年生以上は、漢字で「愛鳥週間」とだけ記入する。(3年生以下は字をかかなくてもよい) ※校内での選考により出品します。 *応募した作品は返却されません。
JA交通安全 ポスターコンクール	四つ切り画用紙 (応募票は作品左下に貼付)	交通安全をよびかけるポスター ①歩行者向けのもの ②運転者向けのもの ・交通ルールにあっていること(例:信号機の色、シートベルト、チャイルドシートなど) ・車のメーカー名、ナンバー、ビルなどの名前など、個人や商品名・会社名が特定できる文字はかき入れない。 ・応募票は、学校にあります。

## 【書道の部】

コンクール名	大きさ	内容など
和歌山県ジュニア美術展 観覧会 書道の部	半紙、条幅(半切) 県書初め競書会用紙 (20cm×71cm)も可	作品はたて書きで、題字、字数、書体は問いません。 作品には学年と氏名を書いてください。学校名は書かないでください。 学年の書き方の例 小学校1年生の場合 「小一」「一年」どちらでも可
JA書道コンクール	学年別に指定された文字 を書く。(担任の先生に聞く)	①半紙の部 ②条幅の部 学年・氏名を書くこと。小・中学校の別を記入しない。学校名を記入しない。

## 【理科の部】

コンクール名	大きさ	内容など
科学作品展	指定の原稿用紙または四つ切り 画用紙 原稿用紙は学校で販売 (1枚20円)	くわしくは別紙を参照してください。 (制作物・標本) 特に規格はありません。 用紙はたて、文字は横書き、1枚目を題名のみと表紙としない。 研究の動機、方法、結果、考察などのようにまとめる。 記録物、標本類があればできるだけ作品にそえる。

【作文の部】

コンクール名	大きさ・枚数	内容など
老人福祉作文	専用の原稿用紙 (学校にあります) 3枚以内	家族のおじいさん・おばあさんあるいは、近所のお年寄りとの日常的な交流を通じて学んだことや、感じたことを素直に表現した心のなごむ内容のもの。
“社会を明るくする運動” 作文コンテスト	400字詰め原稿用紙3～5枚程度	みなさんは、毎日の家庭や学校などで体験したことから、犯罪や非行について考えたり、感じたことはありませんか。そういったことをいきいきと作文に書いてみてください。 *応募した作品は返却されません。
わたしのまちのおまわりさん	1～3年生・・・400字詰め原稿用紙(B4版)2枚以内 4～6年生・・・400字詰め原稿用紙(B4版)3枚以内	「おまわりさんとのふれあい」「おまわりさんへの意見や感想」「こんなおまわりさんがいたらいいな」 「おまわりさんへの手紙」など、子どもたちの自由な発想で書かれた作品。 *応募した作品は返却されません。
「いつもありがとう」作文 コンクール	400字詰め原稿用紙 3枚まで	いつもお世話になっている家族に対し、普段言葉ではなかなかいえない感謝の気持ちを作文に書いてください。 *応募した作品は返却されません。
読書感想文コンクール	1・2年生・・・400字詰め原稿用紙1枚半～2枚以内 3～6年生・・・400字詰め原稿用紙2枚半～3枚以内	※題名・学校名・氏名は字数として数えません。 ①自由図書・・・自由に選んだ図書(フィクション、ノンフィクションを問いません)の感想文 ②課題図書・・・主催者の指定した図書の感想文 ※校内での選考により出品します。 ※「～を読んで」ではなく、オリジナルな題名を工夫しよう。
有田の子	1～4年生・・・400字詰め原稿用紙3枚以内 5・6年生・・・400字詰め原稿用紙5枚以内	有田の子の生活の様子や考えなどがよく表れた作品 作文・詩・俳句・短歌 ※校内での選考により出品します。
人権の詩 2020	専用の原稿用紙	普段の生活の中での人権をテーマにした詩を書いてください。(詩の長さは問いません) *応募した作品は返却されません。
しきなみ子供短歌コンクール	専用の用紙	ひとり一人につき一首の応募になります。作品は自作、未発表のものにかぎります。 気づいたこと感動したことを、自由にあらわしてみよう。